

会 議 録

会議の名称	第3回富士見ガーデンビーチ運用に関する市民検討会議
開催日時	令和2年2月28日（金）19時30分～21時00分
開催場所	中央図書館 視聴覚ホール
出席者	加藤連治氏、大竹ミイ子氏、押田一氏、河村明彦氏、瀬戸口幸子氏、長ヶ原美博氏、（神谷和義氏） 事務局：生涯学習課（深迫課長、高見副課長、坂本主査、加藤主任）
欠席者	古賀正信氏、小林正剛氏、坂田紀子氏、松原ふみえ氏
会議録確認	加藤連治氏
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 座長、生涯学習課長から</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）「富士見ガーデンビーチ運用に関する市民懇談会」及び「富士見市スポーツ推進審議会」のまとめ</p> <p>（1）について事務局から資料に基づき説明。</p> <p>4 意見交換会</p> <p>参加者：様々な意見が出ているが、どの意見ももつともである。</p> <p>参加者：他市町との連携が意見として出ているが、難しいように感じる。</p> <p>事務局：現在の場所に他市町と一緒に施設を作るとなると、費用分担等で課題があると考えている。</p> <p>参加者：ターゲットを絞ることは重要だろう。現状のガーデンビーチは子ども向けの施設だが、資料を見ると高齢者向けの施設の要望も多いようだ。</p> <p>参加者：市の財政としてどれくらいのお金をかけることができるのか。財政面がわからない段階では話ができない部分もある。</p>	

参加者：現在のガーデンビーチは規模が大きい。今後、子どもの人数が減っていくことを考えると、現状の施設が赤字ならば縮小するのが良いのではないかと。ただ、縮小したとしても存続した方が良くと思う。通年の施設を新たな場所に作ることは費用を考えると難しいのではないかと。現状の場所で続けていくのであれば、水害への対策も必要だろう。

参加者：自分の要望や周りの人からの意見として、高齢者も使えるエコパのような施設が欲しいと訴えてきた。生涯学習施設として考えた時に現状の課題をふまえると、現在の施設より規模が小さくなったとしても通年利用可能な幅広い世代が使える施設が良いのではないかと。また、台風被害等を考えると、現在のガーデンビーチの場所に集客施設があることは不安である。現在の場所は遊水機能を強化する等、徹底した対策をしてほしい。

参加者：別の場所に新たな施設を作るとしても、代替地取得にどれくらいの費用が掛かるのかわからない。

参加者：理想を言えば、子どもから高齢者まで通年使える施設が生涯学習施設としても一番良いと思う。ただ、やはり費用面が気になる。市の財政を考えた時にどれくらいのお金をかけることができるのか、現実的なことも考える必要がある。

参加者：財政面で許されるのであれば、場所を変え、幅広い世代が通年使える施設を作ることが良いのではないかと。

参加者：現在のガーデンビーチの立地や利用者の交通事情は悪くない。バスが近くまで来ており、駐車場も確保されている。同様の土地を別の場所で確保することは難しいのではないかと。現状の場所であれば、土を盛って土地を高くする等、水害対策を行う必要があるだろう。子どもたちに近い場所として学校プールを活用し、通年プールを作る場合は費用面が許せば別の場所に建設、同じ場所であれば水害対策をしたうえで建設といった形が良いのではないかと。来場者の交通手段も気になる。

参加者：財政面のことを考えないのであれば、夏は学校プールも活用しつつ、安全が確保された幅広い年代が利用できる通年プールが理想ということになるだろう。

参加者：川越市では以前、屋上に設置された学校プールを市民に開放しており、利用者もそれなりに多かったと聞いている。

参加者：以前の会議で示された習志野市や鎌ヶ谷市の学校プール開放の例のように、比

較的安価に学校プール開放を実施できるのであれば良いと思う。同じ千葉県の市川市在住の人に聞いたところ、市川市でも学校プールを無料で開放しているようだ。

参加者：学校プールを開放するには設備等も必要だが、費用が多額になることはないのではないか。

参加者：市で施設を整備し、その後は民間に貸し出して維持費0円を目指すというのはどうか。建物だけでもあれば業者としては得と考えるのではないか。建設費用は市が負担し、民間に維持してもらう形も検討してみてはどうか。

参加者：北海道の白糠町は人口7,900人の町だが温水プールを維持している。小規模の温水プールの事例についても調べてほしい。

事務局：通年使用可能な、子どもから高齢者まで使える施設が望まれていることは理解しているが、高額な維持費等の課題もある。また現状の屋外プールに関しても、課題が多いと認識している。市民の税金で運営する施設ということを考えれば、できる限り市民の方へ還元したいという思いもある。ガーデンビーチ利用者のうち市民の方がどれくらいいるのか、来シーズンに利用者アンケートを取りたいと考えている。

参加者：上福岡や南古谷等からも多くの子どもたちが来ているだろう。

事務局：現在のガーデンビーチは障がいのある方には使いにくいプールである、という意見もあった。そういった意見も念頭に置いての検討が必要である。

事務局：先日も、更衣室のドアが劣化により落ちてしまうということがあった。営業期間は終了しているため大きな影響は無かったが、施設や設備の老朽化が進んでいることは事実である。バリアフリー対応についても考える必要がある。

参加者：ガーデンビーチの近くに住んでいるが、駐車場でのトラブルが多いようだ。特に土日が混雑している。早いと朝7時頃から並んでいる車もあり、一般の車両の通行を妨げていることがある。子どもを迎えに来る車もあるためか、閉園時間近くの時間帯もかなり混んでいる。

参加者：通年の室内施設は良いと思う。ただ、新しい施設を作るとしても相当魅力のある施設でないと利用者数はかなり落ち込むだろう。利用者が減っているとはいえ、現状は1日1,000人の利用がある。子どもの利用を想定するのであれば、最低限ウォータースライダーくらいは必要ではないか。子どもに我慢してもら

うという考え方もあるが、利用者数には大きく影響すると思う。

事務局：利用者数という面を考えれば、施設そのものの魅力はもちろん、施設で実施するプログラムも重要であると考ええる。

参加者：市民総合体育館は指定管理者が変わったことでプログラム等も変更されているようだが、利用者数の変化はあるのか。

事務局：スポーツジム・スタジオの利用者は昨年と比べて増えている。人気のプログラム・講師の時間には混んでいる。

参加者：子どもに人気のプログラムを検討する必要があるのではないか。

参加者：駅の近くにある民間プールは、朝や昼の時間帯はほとんどが高齢者の利用である。夕方や夜は子ども向けのスクールを実施しているようだ。

事務局：民間のスポーツジムでも、平日昼間は高齢者向け、夕方は子ども向け、夜は大人向けのプログラムを組んでいることが多い。

参加者：ガーデンビーチは名前のおり屋外施設のイメージがある。無くなってしまうのは寂しい。ただ、理想としては通年使える屋内プールだと思う。家の中でゲームをする子どもが多くなったとはいえ、プールがあれば遊びに来る子どもも居る。子どもも大人も一緒に使える施設であれば、教育の面でも良いのではないか。

参加者：子どもが高齢者とコミュニケーションが取れるような場所は学びの場としても大切だと思う。ただ、費用面は心配である。

参加者：障がいのある方のことも考えた施設づくりをしていくべきだと考える。屋外プールについては、安全面を考慮しても継続は難しいのではないか。学校プールとの連携を考えていくべきだろう。将来のことを考えると屋内プールの方が良いのではないか。

参加者：市民に喜んでもらえる施設であることが大切だと思う。通年収益のあがる、いつでも使用できる施設、大人も利用できる、子どももそれなりに楽しめる施設が良い。財政面のことは考えていないが、実施している自治体もあるので研究してほしい。

5 閉会